

令和元年度 第7回 辻堂まちづくり会議 次 第

日 時：2019年10月17日（木）13：30～

会 場：辻堂市民センター 第1談話室

◎ 前回会議の議事録の確認について

◎ 子ども回覧板について

◎ 台風19号について

議 題

1 部会等からの報告について

広報委員会（10/3）、辻堂交流部会（10/10）、
くらし安心・安全部会（10/10）

2 公民館まつりについて

10月26日（土）、27日（日）いずれも10時から15時

3 辻堂地区全体集会について

12月7日（土）9時30分から12時まで 市民センターホール

4 その他

（1）自治連・社協との合同研修会 11月2日（土）

10時から12時 市民センター ホール

（2）みんなで美化キャンペーン（予定）11月29日（金）

辻堂自歩道

（3）郷土づくり会議地区間交流会 11月21日（木）

（4）郷土づくり会議アンケート

今後の予定

○第7回辻堂まちづくり会議 11月28日（木）13時30分から

○広報委員会 11月 7日（木） 9時30分から

○くらし安心・安全部会 11月21日（木）13時30分から

○辻堂交流部会 11月21日（木）14時00分から

以 上

2019年度 辻堂まちづくり会議 委員名簿

No.	区分	氏名（敬称略）	団体名又は公募	役職	部会	広報委員会
1	団体推薦委員	松本 喜夫	自治会長・町内会長連絡協議会		くらし安心・安全	○
2	団体推薦委員	山田 泰司	社会福祉協議会		くらし安心・安全	
3	団体推薦委員	齋間 道雄	青少年育成協力会		くらし安心・安全	
4	団体推薦委員	高橋 肇	交通安全対策協議会		くらし安心・安全	
5	団体推薦委員	吉田 紀行	生活環境協議会		辻堂交流	
6	団体推薦委員	石井 喜孝	防犯協会	部会長	くらし安心・安全	
7	団体推薦委員	小川 雄二郎	防災協議会	副会長	くらし安心・安全	
8	団体推薦委員	近藤 眞由美	東地区民生委員児童委員協議会		くらし安心・安全	
9	団体推薦委員	國弘 信子	西地区民生委員児童委員協議会	副会長	くらし安心・安全	
10	団体推薦委員	伊藤 和子	辻堂公民館評議員会		くらし安心・安全	○
11	団体推薦委員	鷹野 三枝子	高浜地域子ども支援会議		くらし安心・安全	○
12	団体推薦委員	岸 喜代志	辻堂地区社会体育振興協議会		くらし安心・安全	
13	団体推薦委員	小林 準一郎	辻堂商店会連合会		辻堂交流	
14	団体推薦委員	片桐 賢	辻堂地区老人クラブ連合会		辻堂交流	
15	公募委員	石澤 知子	公募委員		辻堂交流	
16	公募委員	白井 洸子	公募委員		くらし安心・安全	
17	公募委員	横川 敬久	公募委員		辻堂交流	
18	公募委員	森外 葉子	公募委員		辻堂交流	○
19	公募委員	木幡 元	公募委員	部会長	辻堂交流	
20	公募委員	村瀬 旨博	公募委員		辻堂交流	
21	公募委員	関岡 壽夫	公募委員	副会長	辻堂交流	
22	公募委員	吉田 秀樹	公募委員	委員会長	辻堂交流	○
23	公募委員	尾崎 文彦	公募委員	会長	－	○
24	公募委員	保坂 真美	公募委員		くらし安心・安全	

第6回辻堂まちづくり会議報告

(開催日時) 2019年(令和元年)9月26日(木) 13:30~16:20

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 19人

(欠席者) 5人

(傍聴者) 4人

- (議題等)
- 1 部会等からの報告について
 - 2 辻堂プライドについて
 - 3 公民館まつりについて
 - 4 その他

◎ 前回議事録の確認

資料をもとに、前回議事録の確認を行った。

◎ 辻堂駅周辺の交通問題について

都市計画課 渡辺補佐、所主査、三澤主査、由川さん

道路整備課 佐藤主幹、野澤主査、青木主査、河合さん

により、辻堂地区の交通問題及び市の対応状況について説明が行われた。

(説明概要)

市では、テラスモールや湘南モールフィルを中心とした交通渋滞とバスの遅延、辻堂元町や太平台地区の交通空白地問題を辻堂地区の交通問題として考えている。

その対応策として、渋滞原因の見える化による交通需要マネジメントと、バスの運行経路変更等があり、今後11月上旬の日曜日から調査を進めていく予定である。

(今後の検討している解決策)

- ・バス運行経路の変更
- ・地下道へのアクセス道路の車線数増加
- ・交通空白地への公共交通導入

(意見等)

- ・南海岸線のバス路線について、過去の文書が残っていないのであれば、変更しても良いのではないか。
- ・交通量調査等の協力が出来れば行っていきたい。
- ・今後のスケジュールのようなものを教えてほしい。
 - 今年度11月に調査を行い、2月くらいまでに整理をしていきたい。その後対策として今年度中に何を行うかを考えていく。
- ・JRの横断について、休日は1時間ほどかかってしまう。
- ・昭和通りのそれぞれのバス停の利用者数の統計を取った方が良いのではないか。
 - 今年度調査を行っていく予定である。
- ・バス会社に依頼するのではなく、マイクロバス等を作成したほうが良いのではないか。

→ 六会や善行等はまちづくり会議等の会議体から声を上げてもらい、実現した。先ずはバス会社との調整を行い、それでかなわなければマイクロバス等も考えていく。

- 交通空白地についてはどの地区も、小さいバスであってもすれ違いが難しいほど道が狭い。バスを通したとすると、それらの地区は不便となってしまう可能性がある。
- 地下道の上の空きスペースは、バス等の大型車の最小回転半径を確保するため、広げたものの。
- 辻堂市民センターの移転があるため、駅等から団地行きのバスが出来ると便利になる。
- 調査等に協力できる部分があれば、是非伝えてほしい。

◎ 台風15号に伴う藤沢市の被害状況について

事務局から説明が行われた。

- 最大瞬間風速：34m（辻堂地区）
- 警戒レベル4を発令（避難勧告：洪水浸水想定区域・土砂災害想定区域）
- 想定区域マップ等がHPからは探しづらい。→危機管理課へ伝えた。
県のマップは千年に1度クラスの災害想定であるため、市で作られたマップとは少し異なる。
- 負傷者：1人 避難者：350人（うち辻堂地区24人）
- 建物：51棟（一部損害） 1棟（半壊）
（意見等）
- 千年に一度というが、今来ている災害の規模が分からないため、使用についての基準が分からない。そこについては、過去最大を想定するか、過去の資料を基にするのか等、各自の判断にゆだねることになる。
- 避難勧告は防災ラジオでも流れているのか。→流れている。
- 高齢者はインターネット等を使えないので、情報が入りにくいのではないか。
→民生委員は要支援の高齢者情報を持っているため、電話等で確認している。
- 要支援者の避難対応等はどのような体制になっているのか。
→要支援者リストが町内会に配られる。それを利用するなど、町内会毎の対応に委ねている。
- 雨量の程度による浸水マップは作られているのか。
→降雨場所や時間雨量でも変わってしまうので、細かいものは作られていない。

◎ 議題

1 部会等からの報告について

- 資料のとおり、各部会長、委員長より報告を行った。
（議事要旨）

発言者	内容等
尾崎会長	それでは、各部会についてご報告をお願いいたします。 交流部会からお願いいたします。
関岡委員	それでは、ご報告させていただきます。 （議事録及び事業計画に沿い報告）

	自歩道愛称募集について、各学校から候補が挙げられた。
尾崎会長	ありがとうございました。 続きまして、くらし安心・安全部会からお願いいたします。
石井部会長	それでは、ご報告させていただきます。 (議事録及び事業計画に沿った報告) 伊藤委員から認知症理解促進事業について、意見があります。
伊藤委員	認知症理解促進事業について、11月2日(土)の自治連・社協との合同研修会后、ステップアップ研修を実施する場合の研修内容について、VR研修は理解が進むものとは思えないため、今回の事業内容には適さないという結論になりました。しかし、今年度大きな金額の予算が付いていて、他の団体や来年度以降ではその予算が取れる可能性が低い点、理解が進まなくても関心を深めるには最適だと考えられる事業である点などから、実施すべき事業であると考えます。 最終決定機関である全体会議内での再検討を依頼します。
尾崎会長	ありがとうございました。 今の伊藤委員からの提案について、何かご意見等ある方はいらっしゃいますか。
松本委員	認知症の言葉はみんな理解しているが、症状等はあまり知られていない。養成講座等を受講した後に、VR等の映像をみて、具体的症状を知ることが出来るなら実施してもよいのではないかな。
○	公助ではなく共助として、認知症の対応をしている事例はあるのか。
尾崎会長	市民後見人等認知症を住民同士で助けていくプログラム等がある。ただし、認知症というだけで偏見のような目を向けられることが多いため、それによって孤立につながっている。あくまで自然体で対応出来ることがよい。 VR研修では、認知症の方の理解できない行動の理由が分かるため、自然体で対応出来るようになると考えられる。その意味でVR研修を実施しても良いのではないかな。
小川委員	町内会等では、実際にあり得る状況の寸劇等を行うことが非常に重要であると考えている。また、認知症には様々な症状があることも理解できる。 そのため、11月2日に寸劇等により認知症の理解を深めたうえで、研修予算を他に流用できないのであれば、VR研修を実施し、様々な症状を理解することは良いのではないかな。
山田委員	これらの意見を踏まえて、次回のくらし安心・安全部会で再検討という形でよいのではないかな。
横川委員	今回のVRプログラムは、当事者達が多く関わっているものである。国外にも評価されて、使用されていたり、学校教育にも導入されている。 珍しいケースの認知症もあるため、見たことないという人もいるかもしれないが、気づいていないだけでその症状の方になっている人もいるかも

	しれない。その症状を視覚的に確認できるのであれば、実施したほうが良いと思う。出来れば 20 代～40 代等の人たちや施設で働く人たちにに向けて行ってほしい。
石井部会長	これらの意見をまとめ、部会で話し合いを行いたい。
尾崎会長	ありがとうございました。それでは次回部会で検討のほどよろしくお願いいたします。 続きまして、広報委員会からお願いいたします。
吉田委員長	それでは、ご報告させていただきます。 (議事録及び事業計画に沿った報告) 公民館まつりで、2 階を中心にスタンプラリーを実施する。景品の提供を各協議会や団体をお願いしたい。

2 辻堂プライドについて

- 資料のとおり、尾崎会長から説明が行われた。
- ・ 前回は提案として説明したが、今回は実施する方向で説明させていただいた。
(意見等)
- ・ まちづくり会議は 2 年に 1 度の委員改選により委員を決めるため、意見がある人も 2 年間待って役員になってからでないと意見が言えない。
- ・ 普段の会議の中で傍聴席にいる方々に意見を求めても良いのではないのか。
 - 意見を言って良いとすると、反対意見が多く出て事業が進まないことも起こりえる。現実的ではないのではないのか。
 - 実施すべきだと思う。今までは、住民から意見を受け入れることは全体会議でしか行ってこなかった。今後、広く意見を受け入れるという体制を作っていくのであれば、意見を聞くという姿勢を作ることは重要ではないのか。
- ・ 「辻堂プライド」という言葉を変えることは出来ないのか。「好きです辻堂」「つながるまち辻堂」等全世代で理解できるものにしたい。
 - 「辻堂プライド」という言葉にしっかりこない人もいれば、気に入っている人もいる。今回の自歩道の愛称のように公募で決めることが出来ればみんなが納得できると思う。
- 具体的な言葉については今後決めていく。

3 辻堂公民館まつり

- 事務局から説明が行われた。
- ・ 公民館まつりの受付当番について、今回決まらなかった部分については部会毎に枠を決めるので、部会内で決めることとなった。

4 その他

- ・ 今後の事業について、事務局から資料のとおり説明が行われた。

◎今後の予定

- 下記のとおり、全体会議・部会等を開催すること決定した。

会議名：第6回辻堂まちづくり会議 全体会議

日 時：10月19日（木）午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター 第1談話室

議 題：各部会からの報告 等

会議名：辻堂交流部会

日 時：10月10日（木）午後2時～午後4時頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

会議名：くらし安心・安全部会

日 時：10月10日（木）午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

会議名：広報委員会

日 時：10月3日（木）午前9時30分～午前11時30分頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

以上

令和元年度 第6回 辻堂まちづくり会議 次 第

日 時：2019年9月26日（木）13：30～

会 場：辻堂市民センター 第1談話室

- ◎ 前回会議の議事録の確認について
- ◎ 辻堂駅周辺の交通問題について
- ◎ 台風15号に伴う藤沢市の被害状況について

議 題

- 1 部会等からの報告について
辻堂交流部会（9/12）、くらし安心・安全部会（9/19）、
広報委員会（9/12）
- 2 辻堂プライドについて
- 3 公民館まつりについて
- 4 その他
 - （1）みんなで美化キャンペーン 10月11日（金）
13時から 自歩道
 - （2）自治連・社協との合同研修会 11月2日（土）
10時から 市民センター ホール
 - （3）全体集会 12月7日（土） 市民センター ホール

今後の予定

- | | |
|---------------|-------------------|
| ○第7回辻堂まちづくり会議 | 10月17日（木）13時30分から |
| ○広報委員会 | 10月 5日（木） 9時30分から |
| ○くらし安心・安全部会 | 10月10日（木）13時30分から |
| ○辻堂交流部会 | 10月10日（木）14時00分から |

以 上

(開催日時) 2019 年 (令和元年) 10 月 3 日 (木) 9:30～11:30

(開催場所) 辻堂市民センター 第 1 談話室

(出席者) 吉田委員、尾崎委員、伊藤委員、森外委員、鷹野委員、
国弘委員、森山推進委員
事務局 日原主幹、磯崎補佐、宮木

【議事結果】 別添次第に沿って進行した。

<報告>

1 インタビューについて

- ・ 9/25 (水) のインタビューについて (東海岸 3 丁目、北町、仲町)
- ・ 10 月は公民館まつりがあるため 11 月に実施予定

<議題>

1 子ども回覧板 (おまめ隊) についての反省と課題整理 (石井委員・国弘委員出席)

- ・ **準備期間が短く委員内の調整不足のため、日程調整ができない委員が多く 5 日間通して参加できず、子ども達に継続して関わることができなかった。毎回必ず同じ班に 1 人は関わられるようにした方がよい。1 人では無理。大人同士のサポートが必要。**
- ・ **委員内の打ち合わせ時間を増やして、子どもに対する委員の関わり方を統一できれば良かった。**
- ・ **表紙、中高生のサポートの依頼が夏休み直前になり厳しかった。**
- ・ **中高生のサポートは必要か。→◎入れない方が楽にできるが、これからを考えると入れた方がよい。◎地域の大人たちの事を理解してもらうために大人の関わりが必要だと思うので必要ない。(次回検討する)**
- ・ **小3以上で話が理解でき、横の関係もすぐできていた。子ども同士認めあっていた。**
- ・ **募集人数も3班各5人で、大人がいなくても自由にのびのびできていた。**
- ・ **取材先を子どもが選べたので良かったが、質問ができなかつた子どもがいたので取材方法をレクチャーする時間があればよかった。**
- ・ **夏休みの開催は良かった。**
- ・ **公民館と協力でき良かった。(子どもスタッフが参加してくれたので良かった。)**
- ・ **子どもが、回覧板をまわす事にも関われば良かった。**
- ・ **お知らせ等の記事を載せると思っていたが、取材記事だったので、回覧板でなくても良いのではないかと。→記事の内容の検討が必要。**
- ・ **5日間連続で開催したらどうか。→無理。(準備等できない。公民館事業でも2日連続までしか行っていない。子どもも他の予定がある。)**
- ・ **取り掛かる時間の見直しが必要。**

2 子ども回覧板実施に向けての確認事項

- ・表紙について
 - ・来週中に作品が白浜養護から来る予定。右上に“辻堂まちづくり会議”を入れる。
- ・編集後記について
 - ・変更等あれば火曜日までに連絡をください。
- ・スケジュール確認
 - ・別紙にて確認。

3 公民館まつりについて

- ・当番について（別添：当番表参照）
 - ・準備の当番の人数を増やし、空欄のところは各部会で話し合い決定してもらう。
- ・事前配布チラシについて（10/10で回覧のため午後印刷して配布準備1,500枚）
 - ・訂正後印刷。
- ・当日配布チラシについて
 - ・尾崎さんに依頼→委員には8日メール・FAXにて送付。9日までにチェック連絡。
11日2稿。18日印刷。
- ・広報委員会のパネル展示について。
 - ・A3縦。概要紹介(去年の物を使用)。今後の予定。飛び出せ辻堂インタビューと子ども回覧板については21日までに吉田さん作成。

4 2019年度上半期広報委員会の活動実績と後半の予定確認とふりかえり

- ・全体集会のテーマについて、会長、副会長、部会長で協議し11/1までに印刷できるようにする。
- ・HPは吉田さんがたたき台を作成する。
- ・尾崎さんより11/11(月)に公民館まつりの反省会がある。

次回広報委員会

2019年11月7日（木）9:30～12:00

以 上

令和元年度 第7回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2019年(令和元年)10月10日(木)

14:00～16:00

(開催場所) 辻堂市民センター 実習室

(出席者) 木幡部会長、関岡委員、石澤委員、吉田紀委員、吉田秀委員、森外委員、横川委員、
片桐委員

尾崎会長、保坂委員、赤塚会長(桜花園自治会)⇒議題①のみ出席

(欠席者) 2人

(傍聴者) 0人

(議題等) ①交流の場(公園)の活用について
②公民館まつりについて
③交流の場(市民の家)の活用について
④各事業の検討について

〈議題〉

1 交流の場(公園)の活用について

→道路予定地の活用について、担当課へのヒアリング結果について事務局より説明を行った。
鵜沼地区の事例を確認し、次回再度検討することとなった。

【意見等】

- ・近隣住民と地域住民との区別が必要ではないか。接する所だけ説明してその隣には説明せず話を聞いていないという事になってしまうことがないようにしなければならない。
- ・桜花園自治会・富士見ヶ丘自治会に説明し、合意をもらうことが第1のステップではないか。
- ・近隣住民は本当に公園・みどりの広場を必要としているのかという確認が必要ではないか。
- ・自治会としては維持管理を任された時、年4回程度の維持管理はとても大変だと感じる。
- ・鵜沼地区の事例がどのようなものか確認の必要がある。
- ・道路予定地のカギは近隣住民と村上防災部長が保有していること確認。

2 公民館まつりについて

→当日と事前準備の役割分担について決定した。

またシールの色は、小学生と一般(中学生以上)の2色で分けることとした。

幼児については、親に投票してもらい、幼児には消しゴムと親にはウェットティッシュを渡すこととなった。

掲示の担当は以下のとおり。

歴史物語：関岡委員、美化キャンペーン：横川委員、辻堂朝市：吉田紀さん

QRコード：吉田秀さん、愛称募集：事務局

【意見等】

- ・自歩道の様子が見えるようなパネル掲示が必要
- ・愛称には振り仮名を入れる

3 交流の場（市民の家）の活用について

→市民の家の運営委員の意見を確認してから検討していく。

【意見等】

- ・使い勝手が悪い現状がある。
- ・辻堂市民の家の秋山さん（運営委員）に意見交換等確認をとってはどうか。

4 各事業の検討について

→「歴史探訪事業」は、商店会と連携した形で事業展開を考えていきたい。

次回、商連の中野さんと事業検討をしていくこととなった。

→「スケートボード」の公園利用については、10/15に辻堂南部公園を実地調査することとなった。その後、部会にて利用の場について検討を行う。

→「オリンピック」については、小学生を対象にオリンピック関係者を呼んで、3月を目途に事業を行うことを検討していく。

【意見等】

- ・スケートボードについては、寒川中央公園で新設されていたが、有料という面もあり、平日はガラガラであった。
- ・オリンピック関係者を呼んで小学生を対象に何か、思い出に残るようなことができないか。

以 上

【次回部会日程】

日時：2019年(令和元年)11月21日(木)

14時00分～16時00分頃

会場：辻堂市民センター

第7回 くらし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2019年(令和元年)10月10日(木)

13:30～15:30

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 石井部会長、山田委員、斎間委員、高橋委員、小川委員、国弘委員
鷹野委員、岸委員、白井委員、保坂委員、伊藤委員、横川委員

〈議題〉

- 1 認知症理解促進事業について
- 2 辻堂地区交通問題について(辻堂地下道)
- 3 公民館まつりについて
- 4 各事業の検討について
- 5 その他

〈内容〉

- 1 認知症理解促進事業について
・合同研修会について

2019年11月2日(日) 10:00～12:00 委員集合: 9:15

当日参加者: 石井部会長、岸委員、白井委員、高橋委員、斎間委員、鷹野委員、伊藤委員

- ・ステップアップ研修の内容について

ステップアップ研修はVR研修を実施することで決定した。今回の研修受講者で定員に満たなかった場合の他団体等への受講募集等については次回以降の部会で決めていく。

【意見等】

- ・太平会明和会で12月に認知症サポーター養成講座を実施予定、地域住民の中でも認知症については関心が高い。
- ・レビー小体型等の特殊な型を除いたVRプログラムを組むことは可能なのか。
→ いくつかの種類のプログラムはあるが、可能かどうか今は回答はできない。
- ・レビー小体型の認知症は決して特殊なものではない。数は少ないが誰でもなり得るものであり、実際に辻堂地区にもいると思われる。前までは診断が困難だったが、今はだんだん診断できるようになってきている。
- ・VRという形式ではなく、動画形式で大人数で見れるように出来ないのか。
- ・VR研修は50人参加できるが、今回の研修会参加者から受講者を募り、50人も集まるのか。他の団体にも受講者を募るべきではないか。
- ・認知症になると周りの家族が困る。そのため、VR研修は学校の先生方や介護等事業所、50代以下の世代をターゲットに実施してほしい。
→ まちづくり会議での研修では一般住民を対象とすべきではないか。
→ 辻堂地区=住民としてしまってもいいのか。辻堂地区で活動している組織も対象としてもいいのではないかな。

- ・VR研修を実施し、この事業を介護事業所等の組織でも取り入れるべきということを市に提案してもよいのではないか。

2 辻堂地区交通問題について（辻堂地下道）

都市計画課は、交通量調査等は委託をして実施し、その結果をもとに検討をしていく。しかし、交通量調査等では主要部分のみの調査を行っていく予定なので、保管出来る部分の調査をやってくれるのであれば参考資料にしたい、と言っている。

都市計画課で交通量調査を実施する予定地：地下道南口信号・浜見山交差点・東町交差点
・高浜交差点の4カ所

→ 羽鳥立体交差点から東町へ抜ける車の交通量調査を実施していくこととなった。

3 公民館まつりの展示品作成について

- ・それぞれの展示物作成について確認を行った。
- ・当日の受付当番について決定した。

4 各事業の検討

- ・マナーアップ事業について

→過去の交通事故統計データを確認し地図を作成したが、乗り物別の資料等、より詳しく確認できないか、警察に確認を行うこととなった。

- ・子ども見守り事業

→まちづくり会議・各学校（白浜養護・湘南工科含む）・青少協・交対協・民生委員・三者連携・防犯協会・PTAのそれぞれ代表者等と呼ばひ、話し合いを実施することを確認した。

5 その他

- ・みんなで美化キャンペーンは台風のため、延期となった。
- ・わんわんパトロール決起集会 2019年11月6日（水）14時～14時30分
辻堂小学校 南側緑の広場
- ・安全・安心まちづくり旬間 10月11～20日
子ども見守り活動（30分程度） 10月16（水）

【次回部会日程】日時：2019年11月21日（木）13時30分～15時30分頃

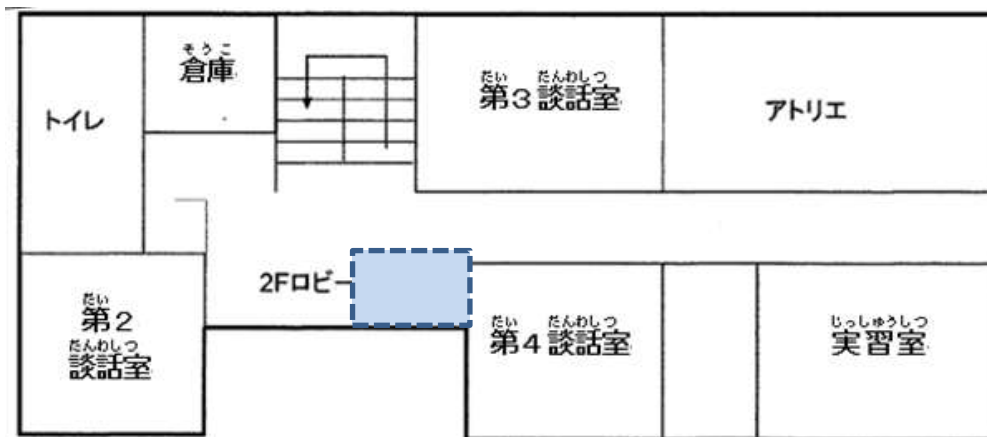
会場：辻堂市民センター

以 上

公民館まつり 自歩道愛称募集詳細

◆実施日 10月26日（土）・27日（日）10時から15時

◆場 所 辻堂公民館 2階 第2談話室横のスペース



◆展示内容◆

自歩道の愛称を決めよう

- ① 参加者に、年齢を確認して、丸いシールを渡す。(各日1人1枚)
※小学生とその他(一般)で色分けを行う。(計2色)
- ② 良いと思う愛称案に、渡した丸いシールを貼ってもらう。
※後ほど数を数えやすいようマス目を書き、きれいに貼ってもらう。
- ③ 参加した小学生には参加賞(ガチャ消しゴム)を選んでもらう。中学生以上はウェットティッシュを渡す。※幼児以下が親子で来たら、親と子で両方景品を渡す。(ガチャ消しゴム、ウェットティッシュ)
- ④ 1日ごとに模造紙は交換する。

「自歩道」（辻堂1号・2号自転車歩行者専用道路）の愛称でいいね！と思うところにシールを張ってね

		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
オレンジロード	小学生	● ●									
	一般	● ● ●									
カラーロード	小学生										
	一般										
SEA ROAD (シーロード)	小学生										
	一般										
しょうなん 湘南ニユニコロード	小学生										
	一般										
はまかぜ がくえん 浜風の 学園ブロンナード	小学生										
	一般										

Annotations:

- 四角のマスの表を作って順番に貼っていってもらおう。区分けは「小学生」とそれ以上の「一般」のみ。
- 数を数えやすいように10ずつ数字を入れておく。

辻堂まちづくり会議 公民館まつり 当番表(敬称略)

【準備】

10月24日(木)	13:30~14:00	展示説明会	吉田		
10月25日(金)	13:00~15:00	展示作業	吉田	安心安全 白井・石井・ 近藤・伊藤・ 高橋	交 森外・片桐
	15:00~16:30	テント設営	吉田		

今回は休憩所のテント内に安全マップの展示をするので、テント設営は積極的に参加してください。

【当日】

10月26日(土)			10月27日(日)		
時間	氏名	氏名	時間	氏名	氏名
10:00~11:00	吉田(秀)	近藤	10:00~11:00	白井	横川
11:00~12:00	吉田(秀)	石井	11:00~12:00	高橋	保坂
12:00~13:00	森外	石澤	12:00~13:00	石澤	木幡
13:00~14:00	関岡	小川	13:00~14:00	吉田(紀)	森外
14:00~15:00	関岡	小川	14:00~15:00	吉田(紀)	関岡

【当日の作業内容】

- ① 自歩道の投票の参加の呼び込みをする。
- ② 投票してくれた人に参加賞(子ども:消しゴム、大人:ウエットティッシュ)を渡す。
- ③ 展示物を見ている方と投票した大人に、まちづくりだより公民館まつり号を配布する。

【当番について】

- ① 5分前集合で、引継ぎを行ってください。
- ② 26日(土)最終の方は、「自歩道投票用紙」を剥がして、新しい用紙を貼り付けてください。
剥がした投票用紙と参加記念品・文具などはセンター事務室へ運んでください。
- ③ 27日(日)最初の方は、事務室に参加記念品・文具を取りにってください。
- ④ 27日(日)最後の方は、展示物を外し、余った記念品・文具をセンター事務室へ運んでください。

■その他公民館まつりにかかる当番など■

10月26日(土)	9:30~9:50	尾崎会長	役員打合せ
	10:00~15:00	公民館まつり1日目	上記当番表を確認
10月27日(日)	10:00~15:00	公民館まつり2日目	上記当番表を確認
	15:00~16:00	10/27の最終時間の委員	展示物片付け
10月27日(日)	15:45~16:15	尾崎会長	役員反省会

自治連・社協との合同研修会

誰もが安心して暮らし続けることができる辻堂に向けて
～認知症を学び地域で支えよう～

1 実施内容

自治会長・町内会長連絡協議会委員及び辻堂地区社会福祉協議会役員に向け、「認知症サポーター養成講座」を開催。

2 実施日及び場所

2019年11月2日（土）10:00～12:00

辻堂市民センター ホール

3 共催

辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会、辻堂地区社会福祉協議会

4 協力

辻堂まちづくり会議

5 役員のタイムスケジュールについて

時間	内容
9:15	役員集合・会場準備
9:40	受付開始
10:00	研修会開始
11:30	研修会終了・質疑応答
12:00	終了・会場片付け
12:30	片付け終了後解散

6 当日の役割分担

開会挨拶：松本会長（辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会）

閉会挨拶：國弘部会長（辻堂地区社会福祉協議会）

司会進行：石井部会長（辻堂まちづくり会議 暮らし安心・安全部会長）

会場設営・受付：各団体からそれぞれ数名ずつ

7 対象者

自治会長・町内会長

辻堂地区社会福祉協議会

まちづくり会議委員

計約50人程度

8 今後の予定

2月にステップアップ研修（VR研修等）を実施予定。

郷土づくり推進会議のあり方に係るアンケート（回答）

1 会議の目的

(1) 郷土づくり推進会議の役割と現状について

現行の設置要綱では、会議の所掌事務を「①市民、地域団体等の地域の意見を集約しながら地域の課題を把握し、課題解決に向けた方向性を検討すること。②検討の結果に基づき、市長に対し提案を行うとともに、必要な意見若しくは要望を提出し、または政策の提言を行う。③検討の結果に基づき、地域の特性を生かした事業を企画及び実施する。④その他、必要があると認める事項を処理する。」と規定しています。

ー 1) こうした役割についての取組の現状をお聞かせください。該当するもの、いくつでも○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

- ① 今期中に提言を行った。または、行う予定である。
- ② 今期から新たな課題の解決に向けた検討を行っている。
- ③ 今期から新たな事業を企画し、実施した。または、実施する予定である。
- ④ 前期から継続した課題検討、或いは、事業を実施している。
- ⑤ その他（ ）

－ 2) 取組テーマの設定（部会の設置）及び事業の実施の方法について、一番近いものに○をつけてください。

- ① 会議で検討、抽出した課題を取組テーマとして設定し、事業実施した。
- ② 会議で検討、抽出した課題のうち、他の地域団体等が取り組んでいない事項を郷土づくり推進会議の取組テーマとして設定し、事業を実施した。
- ③ 市が課題としている事項、或いは、市から提案を受けたものと郷土づくり

推進会議で検討したものを合わせて、取組テーマとして設定、若しくは、事業を実施した。

④ その他

[]

ー 3) 取組テーマの設定方法について、どのようにしたらよいのか、お考えに近いもの 2 つまでに○をつけてください。

- ① アンケートや集会など、地域の特性に応じた方法で広く地域市民からの意見を集約して、郷土づくり推進会議で検討して取組テーマを設定。
- ② 地域での活動主体となっている団体との意見交換等を行い、郷土づくり推進会議で検討して取組テーマを設定。
- ③ 市からの説明や提供する各種資料、統計などを参考に、郷土づくり推進会議で検討して取組テーマを設定。
- ④ 市から課題を提案し、そのことについて取組テーマとして設定。
- ⑤ 郷土づくり推進会議の都度、時々のもらしの困りごとを委員が持ち寄って取組テーマを設定。
- ⑥ その他

[]

(2) 地区内の合意形成に向けた取組について

ー 1) 郷土づくり推進会議では、「市民、地域団体等の地域の意見を集約しながら地域の課題を把握」することとされていますが、その意見集約手法について、次のどのような方法を行っていますか。該当するもの、いくつでも○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

- ① 地区全体集会を開催し、意見を集約する。

- ② 地区内アンケートを実施する。
- ③ 広報紙等を作成して周知し、意見を募る。
- ④ 地域活動団体等との意見交換を実施する。
- ⑤ 自治（町内）会等を単位とした地域でのミニ集会を開催する。
- ⑥ 自治（町内）会長から意見を聞く。
- ⑦ 対象者に聞き取り調査を行う。
- ⑧ その他 （公民館まつりで来場者の意見を集める。）

－ 2）現状では、意見集約が十分に図られていると思いますか。何れか該当するものに○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

- ① 十分、図られている。
- ② まあ、図られている。
- ③ あまり、図られていない。
- ④ 図られていない。
- ⑤ その他 （ ）

－ 3）前問で、そのように回答した理由をお聞かせください。

- ・ 集められている意見がどうしても一部の人のものになってしまう。
- ・ アンケート等で大きな課題（道路問題）は集約されている。
- ・ アンケート結果等が精査されていない。
- ・ 一部の意見が大方の意見ととらえがちである。
- ・ 意見を出してくれる人はかぎられているし、意見があっても出せる場を見出せていない人には手が届かない感があるから。
- ・ 聞き取る相手が限定されているから。
- ・ 提言、事業を実施するには（十分またはある程度の）意見集約が図られている必要がある。
- ・ 十分に集約されているとは言えないが、集約に向かっての努力はしている。

（3）今後取り組むべき課題の分野について

郷土づくり推進会議が、地域の課題として今後、取り組むべきと考えているテーマの分野を教えてください。該当するもの、主なもの3つ以内で、○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

- ① 高齢者等福祉について
- ② 子育てや子どもに関する取組について
- ③ 道路・公園等、まちづくりについて
- ④ 地域活性化について
- ⑤ 移動支援、買い物支援等の生活上の課題について
- ⑥ 自治（町内）会等、地域コミュニティについて
- ⑦ 地域の歴史や文化の継承について
- ⑧ その他（健康づくり）

2 会議と市や他団体との関係性

（1）市との協働、連携について

郷土づくり推進会議と市との協働、連携については、各地区で状況が異なっています。

今後、地域課題に対応していくためには、地域課題を市民と市が共有し、適切な役割分担に基づく協働により、地域が主体となって課題解決を図っていくことが重要と考えております。

このことについて、実効性がある仕組とするためにどうすべきか、該当する主なもの3つ以内で○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

- ① 郷土づくり推進会議として課題を設定する当初から、市の所管部署が参加し、課題を共有しながら、解決に向けて取り組んでいく必要がある。
- ② 市から課題の提案やそのための情報提供を行う必要がある。
- ③ 市から地域の実状を示す客観的なデータ等を提供する必要がある。
- ④ 他の地区との情報交換や情報提供が必要である。
- ⑤ 先進事例等の視察等が必要である。

- ⑥ 市民協働は今のままで十分であり、特に必要なものはない。
- ⑦ その他 ()

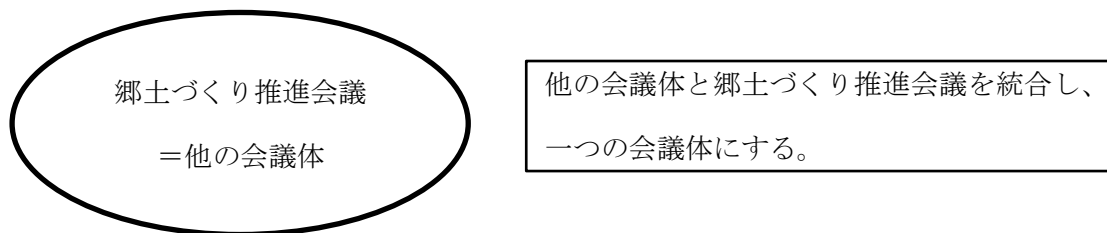
(2) 他の会議体との関係性について

郷土づくり推進会議と地区まちづくり推進協議会（御所見・遠藤）や協議体等の他の会議体との関係につきましては、取組が共通していたり、互いに協力、連携していたり、場合によっては、重複していることもあります。

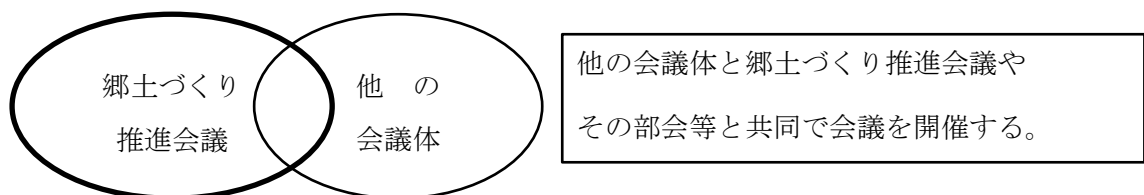
こうしたことから、他の会議体との関係性につきまして、お聞きします。

次の選択肢のなかから、どのようにするとよいと思うか、お考えに一番近いものに○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

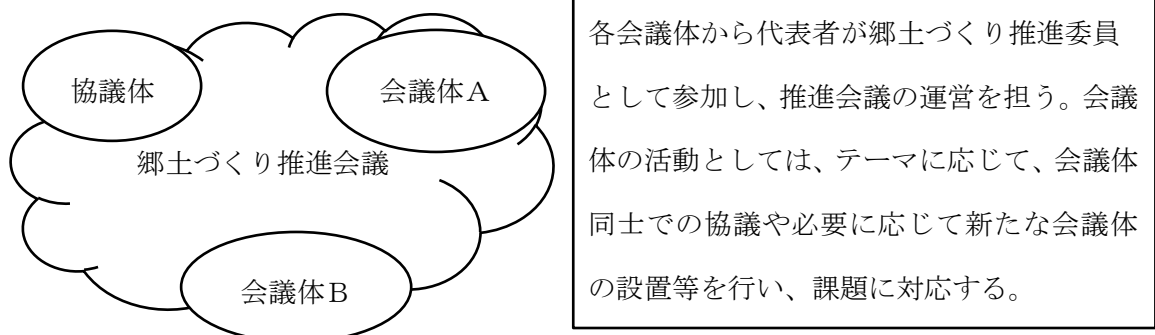
① 「郷土づくり推進会議」と他の会議体との統合



② 「郷土づくり推進会議」と他の会議体との共同



③ 「郷土づくり推進会議」を、さまざまな主体が行っている会議体のネットワークとして位置づけ



- ④ 現状のままでよい
- ⑤ その他（ ）

3 会議の構成

(1) 委員の構成について

現行の設置要綱では、30人の定員を原則とし、公募と地域団体の推薦による委員で構成することとしています。

－ 1) まず、定員のお考えについて、次の中から該当するものに○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

- ① 定員を設ける必要はない。
- ② 定員は必要だがもっと多くするべきだ。
- ③ 定員は必要だが、もっと少なくてもよい。
- ④ ☒ その他（**現行のままで良い。**）

－ 2) 現行では、委員の任期について1期を2年としていますが、任期についてのお考えについて、次の中から適当と考えるものに○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

- ① 1期1年とすべき。
- ② ☒ 現状のまま（1期2年）でよい。
- ③ 1期3年とすべき。
- ④ その他（ ）。

任期についてのご意見があれば、お聞かせください。

・ 各団体選出の委員が長く委員を務めるのはいかがか。

－ 3) 委員の構成に係るお考えについて、次の中から該当するものに○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

① 委員の構成については、民間企業、NPO、様々な地域で活動する団体等、もっと幅広く推薦委員を受け入れるべきだ。

② 現状のままでよい。

③ その他 ()

(2) 委員の公募について

現行の設置要綱では、「当該推進会議が設置された地区内に居住する者（藤沢市の常勤職員又は議員を除く）で、各地区の委員選考委員会が選考した者」を委員とする公募制がとられています。

公募についてのご意見があれば、お聞かせください。

- ・ 現行のままで良い。
- ・ 若い世代も参加しやすい時間帯に会議を設定したうえで公募してほしい。

(3) 公募委員の再任回数について

現行の設置要綱では、公募委員の再任回数を1回とすることが原則となっています。これは、事業の継続性を担保するために、委員の一定期間の在任が必要であるとともに、多くの公募委員が郷土づくり推進会議に関わることで、多様な意見の集約、新たな地域人材の創出など、会議運営を活性化することを期待しているためです。団体推薦委員につきましては、地域団体等の意向を尊重し、連携を強化するという観点から再任回数に制限を設けておりません。

このことについて、次の中からお考えに近いものに○をつけてください。また、その他の場合は具体的な内容をご記入ください。

① 再任回数の制限は不要。

② 制限は必要だが、もう少し多くてもよい。

③ 現状のままでよい。

④ その他 ()

4 現状の郷土づくり推進会議の活動での課題について

お考えを自由にご記入ください。

- ・地域の人々の日々の生活の改善につながるような課題に取り組み成果につながるよう活動していきたい。
- ・サポーター制度を作ってほしい。
- ・過去の委員や委員の予備軍として位置づけ、意見交換、事業のサポートをお願いしたい。
- ・進め方として部会があるのは良いが、他の部会を共有できない部分もあり、事業の現場で人が足りない。(部会が独立しがち)
- ・地域活動に携わる人の顔ぶれが同じであり、皆忙しそうである。よく考え検討する余裕も必要である。
- ・地域団体等と二重行政とならないようにすること。
- ・委員の層が偏りがち、つまり意見も偏りがちな点がある。もっと若い世代から意見を出してもらうために必要なことはなんだろうか？
- ・広い年代の参加がないと、地域課題の視点が偏りがちになってしまう。
- ・課題については、できるだけ絞るようにできれば、課題が多くなるほど結果は望めなくなる。

ご回答ありがとうございました。10月11日までに市民自治推進課総務担当にご提出ください。

(事務担当) 市民自治推進課 総務担当 電話 0466-50-3516 FAX0466-50-8407